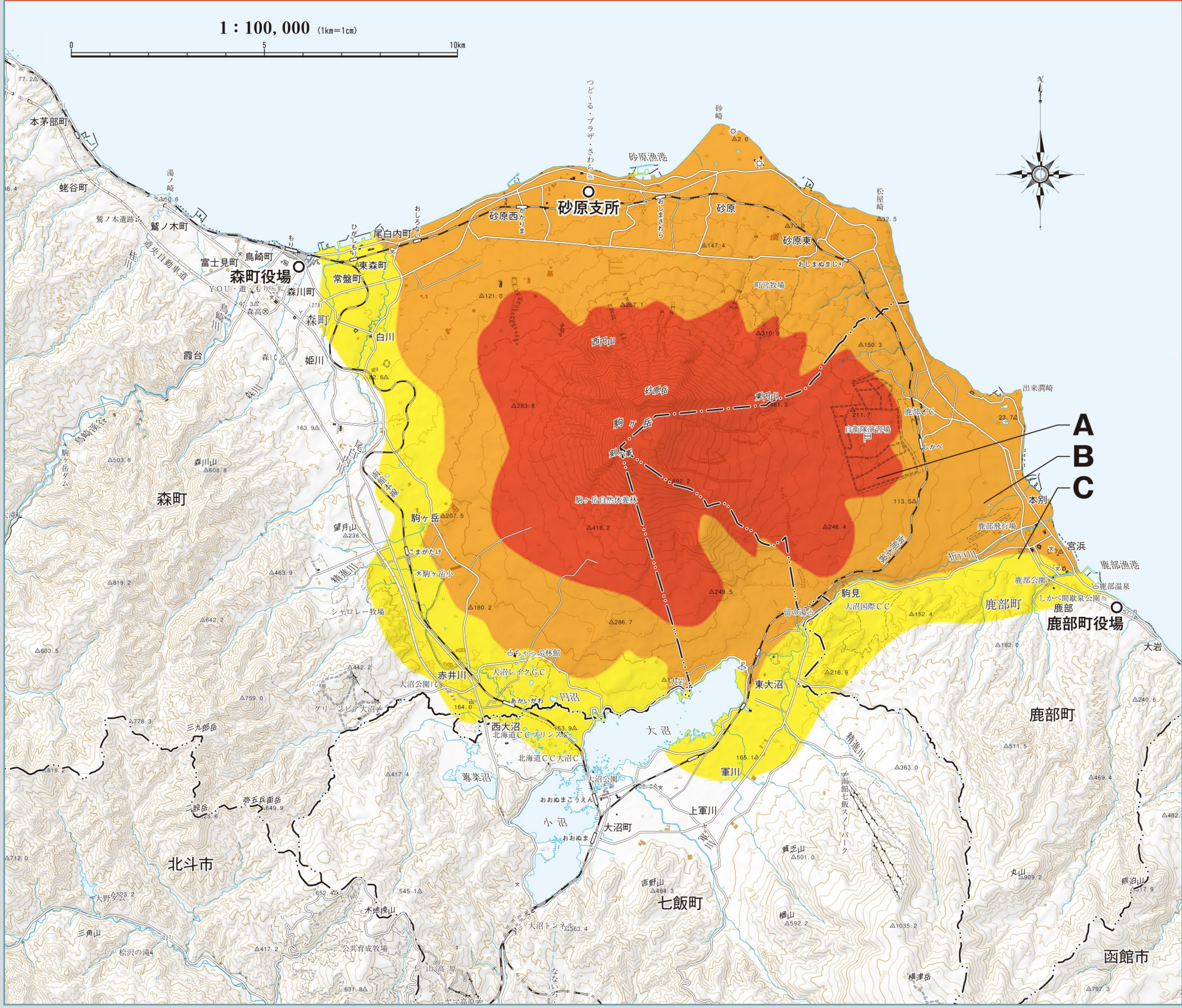
火砕流（軽石流）・火砕サージ



「**火砕流**」は、高温の軽石・火山灰・火山ガスなどからなる混合物で、火口付近から高速で斜面を流下していきます。その温度は、600℃以上で、時速100kmを超えることもあります。

「**火砕サージ**」は、火砕流よりも火山ガスが多く、より高速で流下してきます。

火砕流（軽石流）・火砕サージ
〈昭和4年（1929年）大噴火・森町桟橋より〉

危険区域A 中小規模の噴火でも火砕サージが到達する可能性がある。	（赤）
危険区域B 大規模な噴火では火砕流によって軽石等に埋めつくされる可能性がある。	（橙）
危険区域C 大規模な噴火では火砕サージによって災害が発生する可能性がある。	（黄）

火砕流・火砕サージは、北海道駒ヶ岳では最も危険な現象です。北海道駒ヶ岳で起こる火砕流は、溶岩ドームが崩落することによって起こるものではなく、巨大な噴煙が崩壊して発生するため、火山の全方向に流れる可能性があります。火砕流は谷沿いに流下しやすいですが、中腹より下流側では扇状に広がって流れます。さらに、海に流入すると海水と接触して爆発を起こすことがあります。また、火砕流や火砕サージは海や湖の上にも流れて、岸から離れた地点まで達することがあります。

火砕流は噴火開始後、数時間以内に発生する可能性があります。火砕流は、高温で高速なため、発生してからの避難は不可能です。自治体からの避難情報に注意し、避難指示が発令された場合は直ちに危険区域外に避難してください。また、海上にも到達する危険性があるため、沿岸にいる船舶も警戒が必要です。